

# 学校施設の耐震診断状況について（全体）

## 遠野市立小中学校の耐震診断結果の公表と耐震改修状況について

学校施設は、児童や生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、震災等の非常災害時には、地域の方々の応急避難場所としての役割も果たすものです。

このため、施設の安全性の確保、とりわけ耐震化をすすめることが極めて重要となっていることから、2階建て以上又は延べ床面積 200㎡以上の学校の耐震診断を行い、その結果に基づき、必要な整備を行うことが求められています。

現在、遠野市では、昭和56年以前建築の2階建て以上又は延べ床面積 200㎡以上のすべての学校施設の耐震診断と改築を前提とした耐力度調査を行い、調査実施率は 100% となっています。

また、計画的に補強工事、改築工事を実施し、現在は、市内小中学校施設の耐震改修は完了しています。

※ 遠野市の木造校舎・木造屋内運動場は新耐震基準です。

※ 遠野市中学校再編成計画により平成25年3月に中学校8校を閉校して4月に新設中学校3校を開校しました。

### 『調査・補強事業結果の一覧』（非木造建物）

#### 小学校

	対象棟数 ①	昭和56年以前建築の棟数 ②=③+④+⑤+⑥+⑦	改修の必要ない棟数 ③	改修済み棟数 ④	補強改修の必要がある棟数 ⑤	新たに改築する予定の棟数 ⑥	取り壊し⑦
校舎	15	10	6	4	0	0	0
屋内運動場	8	3	2	1	0	0	0
小学校計	23	13	8	5	0	0	0

#### 中学校

	対象棟数 ①	昭和56年以前建築の棟数 ②=③+④+⑤+⑥+⑦	改修の必要ない棟数 ③	改修済み棟数 ④	補強改修の必要がある棟数 ⑤	新たに改築する予定の棟数 ⑥	取り壊し（未使用） 予定⑦
校舎	7	3	0	3	0	0	0
屋内運動場	2	1	0	1	0	0	0
中学校計	9	4	0	4	0	0	0

#### 小中学校計

	対象棟数 ①	昭和56年以前建築の棟数 ②=③+④+⑤+⑥+⑦	改修の必要ない棟数 ③	改修済み棟数 ④	補強改修の必要がある棟数 ⑤	新たに改築する予定の棟数 ⑥	取り壊し（未使用） 予定⑦
小中学校計	32	17	8	9	0	0	0

※ 木造校舎を含めた棟数53棟

※ 学校ごとの状況は別に「学校ごとの耐震診断状況について」において公表

## 『耐震化率』

1 調査対象の耐震化率は、 $(32-17+8+9)/32 \times 100=100\%$ となっています。

【耐震化率…全体棟数に対し、耐震基準などを満たした棟数（耐震基準を満たした棟数÷全体棟数）×100であり、調査結果一覧の「①-②+③+④/①」で計算】

2 遠野市では、木造の校舎づくりを進めている関係から、木造の建物も含めた棟数は54棟あり、その耐震化率は、 $(53-17+8+9)/53 \times 100=100\%$ となっています。

## 『整備状況』

遠野市では、耐震診断の結果等をもとに、計画的に学校施設の整備を図ってまいりました。平成17年以降の整備状況及び今後の計画については、下記のとおりです。

### ●耐震補強事業が完了した建物

- ・宮守中学校校舎3棟・屋内運動場1棟（平成17年度、18年度完了）
- ・遠野小学校校舎3棟（平成21年8月完了）
- ・鱒沢小学校校舎1棟（平成21年6月完了）
- ・土淵小学校屋内運動場1棟（平成21年6月完了）

### ●改築が完了した建物

- ・遠野北小学校屋内運動場1棟（22年3月改築済み）
- ・綾織小学校校舎2棟（22年12月改築済み）
- ・遠野小学校屋内運動場1棟（25年3月改築済み）
- ・遠野中学校校舎7棟（26年9月改築済み）